



木曽林務課だより

4月

毎年、休むことなく続く、林業に関わる団体等が指導している南木曽中学校のシイタケの植菌作業を紹介します。

33年間続く南木曽中学校のシイタケ植菌！！



学童机に座る田中林業研究クラブ会長

南木曽中学校は、平成18年に築造された木のぬくもりを感じることができる校舎と長年愛用されている木曽桧の学童机で、日々生徒たちは学習しています。

そんな中学校で、原木を使ったシイタケ栽培（植菌作業）が長年続いています。

始まりは「南木曽町林業研究クラブ」が地元中学生に木を活かした活動を通じて、森林、林業、木材利用のことなどを少しでも理解を深めてほしいと、「南木曽町森林組合」や町の協力を得ながら中学校に働きかけて平成2年度に実現した作業です。

この作業が、木をふんだんに使った校舎や机等を導入した経過に少なからず影響しているのかもしれませんが。

さて、植菌作業は、令和5年4月21日(金)に中学校の駐車場で行いました。生徒たちは、事前学習で森林の働きや恩恵などについて理解を深めて作業に臨みます。

指導者は地元森林組合の皆さんをはじめ林研クラブ員、町役場職員、県林業普及指導職員が担います。森林組合の皆さんの中には、中学生の時にこの作業を行ったことのある先輩もいます。

生徒たちが将来、林業の担い手になってくれることを期待しています。



事前学習は県林業普及指導職員が担当



指導者からの作業の説明



ドリルで穴開け、駒打ち作業